

宮城舞台技術者協会 照明部会・事業企画提案書

- 1.高校生限定舞台技術講習会 『Meet The Stage 』
- 2.教員向け舞台技術講習『Komon Come On! 』
- 3.大学・専門学校生限定舞台技術講習会『Stage First Contact』
- 4.広域インターンシップ
- 5.映像技術講習会
- 6.各種資格取得・技能特別教育受講支援
- 7.メンタルヘルスに関する講習会・資格取得
- 8.座談会 #Talk to Me
- 9.あなたのお仕事教えてください。～What kind of work are you doing?～
- 10.宮城県内：劇場見学ツアー

タイトル(仮)

- ・ 高校生限定舞台技術講習会 『Meet The Stage 』

大まかな企画内容

- ・ 各種技術的な講習会

対象者 目的

- ・ 宮城県内の高校に通学している高校生
- ・ 進路を選択する中で、舞台技術業界を目指す世界の1つであるならば、ある程度の 実情を知るきっかけにしてもらう。
- ・ 部活動(演劇、吹奏楽、ダンス、軽音楽、郷土芸能etc.)で更なるスキルアップや 公演、大会などの発表時での事故防止を目的とする。
- ・ 現役で活躍するプロの舞台技術者による講習会とする。

講習内容

- ・ 劇場の使い方、マナー、心構えについて
 - ➔ 一見、華やかに見える舞台は常に危険と隣り合わせである事を第一に教える
※事故の実例や講師自身が経験した事故、怪我についての反省点など
 - ➔ 挨拶から始まり、挨拶で終わる理由について
 - ➔ 劇場を「お借りしている」という事を忘れないこと
 - ➔ 作業、行動についてはお互いに気を使う事を忘れずに
- ・ 劇場を使って機構の見学、触れる事で体験が可能なことを行う
 - ➔ 大まかな機構を知ることによって、その場・その場での危険箇所、注意すべき点を早めに察知できるようになる。
 - ➔ 劇場の協力が必要になるが、普段は高校生に触らせることのない機構操作を体験させる事により、どんな動きをするのか実際に体感してもらう
※操作盤や綱元など
- ・ 劇場の作りを知ろう!
 - ➔ 搬入口の形状、舞台までの導線(段差や間口の確認など)
 - ➔ 美術バトン、サスバトンなど吊り物に関する注意点
 - ➔ 床面の形状や迫、盆などの機構
 - ➔ 自分たちが行いたい作業とその現場では禁止されている事の照らし合わせ、対処法 劇場側との相談の仕方など
- ・ 様々な部活動の生徒に対応出来るように各分野に分かれての講習会とする

ex. 音響:スピーカーを立ててみよう!ケーブルを引いてみよう!マイクを立ててみよう!

音響:回線チェックをしてみよう!大きな音を出してみよう!

照明:サスにライトを吊ってみよう!フロアにライトをセットしよう!

照明:シュートしてみよう!卓を触ってみよう!Pinを振ってみよう!

大道具:平台を組んでみよう!パネルを立ててみよう!ドロップ吊ってみよう!

大道具:釘を打ってみよう!パンチを敷いてみよう!転換してみよう!

講習内容

舞監:図面を書いてみよう!バミリを入れてみよう!仕切ってみよう!

舞監:打合せしてみよう!Qを出して緞帳を上げ下げしてみよう!

楽器:楽器電源を引いてみよう!ドラムを組み立てよう!

楽器:アンプをセットしよう!キーボード周りを組み立てよう!

- ・ 現役のプロスタッフとのトークセッション

→ 質疑応答形式?作業中の雑談でもいいのではないかな?

知識・技能習得の実践的な講習会ではあるが、社員教育ではないので、より深い専門的な講習会ではなく、広く浅く楽しませながら、と、まずは舞台業界の入口を示す事を第一とする。

講師

- ・ 宮城舞台技術者協会より派遣

→ 協会員に協力を仰ぐ

会場

- ・ 宮城県内:公共ホール/ライブハウス
- ・ 宮城県内:協力校の講堂・体育館など

申し込み方法

- ・ 学校単位(部活動)による取りまとめ/個人単位での申し込み→共にE-Mailで申し込み対応

参加費用

- ・ 経費(予算)により設定をするべきだが、対象が高校生なので上限は¥1000～ ¥2000

開催日

- ・ 7月(中旬)～8月(下旬)
 - 夏休み期間中で平日開催が可能/多くの部活動が大会前で合宿などを行う期間
- ・ 12月(下旬)～1月(月上旬)
 - 冬休み期間中で平日開催が可能/東北大会・全国大会の時期でもある
- ・ 3月(中～下旬)
 - 春休み期間中で平日開催が可能/新入生を迎え入れる準備期間として活用が可能では?

協会外の協力体制(協力依頼)

- ・ 各ホール運営団体:市町村、文化振興財団、NPO法人、指定管理者(企業)など・宮城県高等学校文化連盟:各専門部
- ・ 宮城県教育委員会及び各市町村の教育委員会

協会主催による事業の狙い

- ・ With コロナ、Afterコロナでの人材発掘、若手育成に関する情報収集・学校関係者との人脈作り等

その他

- ・ 宮城県内の部活動状況(別紙)

高校名	吹奏楽	演劇	軽音楽	ダンス	チア	和太鼓	その他		
白石	◎	◎	◎				合唱	箏曲	マンドリン
白石/七ヶ宿				◎					
白石工業	◎		◎						
村田	◎								
柴田農林							音楽		
大河原商業	◎						ギター		
柴田		◎					音楽		
角田	◎	◎							
伊具	◎								
名取	◎	◎					音楽		
名取北	◎	◎					ギター		
亘理	◎	◎	◎						
宮城農業	◎	◎	◎			◎	合唱		
仙台一	◎	◎					合唱	ギター	
仙台二華		◎					音楽	F研	
仙台三桜		◎					音楽	ギター	
仙台向山	◎								
仙台南	◎	◎	◎				合唱		
仙台西	◎						合唱		
仙台東	◎	◎					合唱		
宮城工業	◎		◎	◎					
仙台工業	◎						音楽		
仙台二	◎						合唱		
仙台三	◎	◎					音楽		
宮城一		◎	◎	◎			合唱	箏曲	ギター
宮城広瀬	◎	◎							
泉	◎		◎		◎				
泉松陵	◎	◎			◎				
泉館山	◎	◎					合唱		
宮城野		◎	◎						
仙台	◎	◎		◎					
仙台商業	◎	◎	◎	◎					
塩竈	◎	◎		◎			音楽/合唱	箏曲	マンドリン
多賀城	◎		◎				合唱		
松島	◎	◎	◎	◎					
利府	◎	◎					ギター		
黒川	◎								
富谷	◎	◎		◎			合唱		
古川	◎	◎					合唱		
古川黎明	◎	◎		◎			音楽/合唱	吟詠剣詩舞	
岩出山	◎	◎		◎			伝統文化		
中新田	◎								
松山	◎						総合文化		
加美農業	◎								
古川工業	◎	◎		◎					
鹿島台商業			◎						
涌谷	◎								
小牛田農林	◎								
南郷			◎				総合文化		
佐沼	◎		◎				合唱	箏曲	
登米	◎		◎						

高校名	吹奏楽	演劇	軽音楽	ダンス	チア	和太鼓	その他		
登米総合産業	◎								
築館	◎		◎				伝統文化		
岩ヶ崎	◎		◎				合唱		
追桜	◎	◎					合唱		
石巻	◎	◎							
石巻好文館	◎				◎		音楽	マンドリン	
石巻西	◎	◎	◎						
石巻北	◎	◎							
石巻工業	◎						F研		
石巻商業	◎								
桜坂	◎	◎					合唱		
気仙沼	◎	◎	◎	◎			合唱	マンドリン	
志津川			◎				郷土芸能	総合文化	
本吉響	◎		◎						
気仙沼向洋			◎						
貞山		◎	◎						
田尻さくら				◎					
仙台大志			◎						
聖和学園	◎	◎	◎		◎				
常磐木学園	◎	◎	◎	◎	◎		ギター	ミュージカル	
育英学園	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
東北(小松島)		◎	◎		◎				
東北(泉)	◎			◎					
聖ウルスラ	◎		◎				合唱		
東北生活文化	◎	◎		◎					
聖ドミニコ	◎		◎						
明成学園	◎	◎	◎	◎		◎	合唱		
仙台城南	◎		◎	◎	◎				
東北学院	◎		◎						
学院榴ヶ岡	◎			◎					
古川学園	◎								
尚綱学院		◎	◎	◎					
仙台白百合		◎		◎	◎		オーケストラ		
宮城学院	◎	◎		◎					
85校	68校	44校	35校	23校	9校	3校			
大まかに各学校単位での定期演奏会、定期公演は行っている様子 Twitter、FacebookなどSNS発信が主流の様子									

	地区大会	県大会	東北大会	全国大会	Memo
吹奏楽	7月	8月	8~9月	10月	
吹奏楽(アンコン)	12月	翌1月	翌2月		
演劇	10月	11月	12月	翌8月	高文祭
ダンス			7月		
郷土芸能		11月	12月	翌8月	高文祭

タイトル(仮)

- ・ 教員向け舞台技術講習『Komon Come On! 』

大まかな企画内容

- ・ 指導者向けの技術講習会

対象者 目的

- ・ 宮城県内の教職員・部活動指導者
- ・ 部活動の指導をする上で校内での活動、校外での公演、大会などに関する技術的な必要最小限のスキルを身に付ける。また、顧問歴が長い教職員は更なるスキルアップを目指してもらう。
- ・ 指導者としての観点から知識・技術力が未熟な生徒の事故防止を目的とする。
- ・ 現役で活躍するプロの舞台技術者による講習会とする。

講習内容

- ・ 劇場の使い方、マナー、心構えについて(初心者向け)
 - ➔ 一見、華やかに見える舞台は常に危険と隣り合わせである事を第一に教える
※事故の実例や講師自身が経験した事故、怪我についての反省点など
- ・ 劇場を使って機構の見学、触れる事で体験が可能なことを行う
 - ➔ それぞれの機構が何のために存在するのか、名称と機能(役割)を理解する事で舞台作業中の事故のリスクマネジメントを学ぶ
※緞帳、暗転幕、美術バトン、サスバトン、迫、盆、フロント、シーリング等
※作業による火災事故、転倒事故、人身事故など
- ・ 演出上”やりたい事”と”できる事”の違いについての技術講習・実技講習
 - ➔ 生徒たちのスキルに合わせた仕込み方・無理のない演出プランへ変更する方法
※顧問の知識や技術が伴えば安全に指導が出来るのではないだろうか？
- ・ 劇場の作りを知る(指導者の目線での見方・考え方)
 - ➔ 搬入口の形状、舞台までの導線(段差や間口の確認など)
 - ➔ 美術バトン、サスバトン、袖幕など吊り物に関する注意点
 - ➔ 床面、壁面、袖中の形状や使い方、注意点など
 - ➔ 生徒たちが行いたい作業とその現場では禁止されている事の照らし合わせ、対処法 劇場側との相談の仕方など

講習内容

- ・ 様々な部活動に対応出来るよう各分野に分かれての講習を行う
 - ex. 音響:スピーカー(スタンド)の組立て方法、Mic,スピーカーケーブルの引き方
音響:信号の流れ方について、調整卓の基本的操作、大きな音の中での作業など

照明:照明仕込み図の読み方、サスにライトを吊り込む時のコツや注意点
照明:フロア周りの仕込み方(火災、転倒事故防止の注意点)、シュートの注意
照明:アナログとDMXの違い、調光卓の基本的操作など

大道具:平台の組み方、パネルの立て方、ドロップ幕などの吊り方
大道具:釘の打ち方、パンチなど天場の敷き方、転換時の注意点(暗転、明転)

舞監:舞台図の書き方、考え方、バミリの重要性、生徒の仕切り方、先生の仕切り方

舞監:各セクション、劇場との進行打合せ方、Qの出し方、出させ方

楽器:基本的な楽器の組み方(ドラムセット・キーボード周り)

楽器:基本的なアンプのセッティングについて

- ・ 現役のプロスタッフとのトークセッション

→ 質疑応答形式?作業中の雑談でもいいのではないかな?

各部活動に合わせて想定されるプログラムを作る方向で考えるのが望ましいかと思います。

講師

- ・ 宮城舞台技術者協会より派遣
 - 協会員に協力を仰ぐ
 - 内容によっては協会外からの講師依頼を行う

会場

- ・ 宮城県内:公共ホール/ライブハウス
- ・ 宮城県内:協力校の講堂・体育館など

申し込み方法

- ・ 学校単位(部活動)による取りまとめ/個人単位での申し込み→共にE-Mailで申し込み対応

参加費用

- ・ 経費(予算・概算)により決定する

開催日

- ・ 7月(中旬)～8月(下旬)
 - 夏休み期間中で平日開催が可能/多くの部活動が大会前で合宿などを行う期間
※平日であれば出張扱いになるので参加しやすいとのこと(菊地知合いの顧問:談)
- ・ 12月(下旬)～1月(上旬)
 - 冬休み期間中で平日開催が可能/東北大会・全国大会の時期でもある
※平日であれば出張扱いになるので参加しやすいとのこと(菊地知合いの顧問:談)
※但し、私立高校の入試担当の場合は難しいかもしれないとのこと(菊地知合いの顧問:談)
- ・ 3月(中～下旬)
 - 春休み期間中で平日開催が可能/新入生を迎え入れる準備期間として活用が可能では?
※平日であれば出張扱いになるので参加しやすいとのこと(菊地知合いの顧問:談)
※但し、卒業式～入試担当の場合は難しいかもしれないとのこと(菊地知合いの顧問:談)

協会外の協力体制(協力依頼)

- ・ 各ホール運営団体:市町村、文化振興財団、NPO法人、指定管理者(企業)など・宮城県高等学校文化連盟:各専門部
- ・ 宮城県教育委員会及び各市町村の教育委員会

協会主催による事業の狙い

- ・ With コロナ、Afterコロナでの人材発掘、若手育成に関する情報収集・学校関係者との人脈作り等

タイトル(仮)

- ・ 大学・専門学校生限定舞台技術講習会『Stage First Contact』

大まかな企画内容

- ・ 舞台業界への入口を紹介し、目標進路へのサポートをする

対象者 目的

- ・ 舞台人を目指し入学したが、果たしてこの業界にはどのような業種があるのだろうか？
- ・ 舞台を作る時、どんな空気感でどんな雰囲気の中で仕事を行うのだろうか？
- ・ 入学し勉強を始めたが専門的な知識はどの程度身に付ければいいのか？など、大きな期待と不安を抱えている学生向けの勉強会

講習内容

- ・ 今後、学校で学習するであろう内容の予備的知識の拡充を行う
 - ➔ 開催時期に応じて事前リサーチが必要になる可能性アリ
- ・ 劇場の使い方、マナー、心構えについて
 - ➔ 一見、華やかに見える舞台は常に危険と隣り合わせである事を第一に教える
 - ※事故の実例や講師自身が経験した事故、怪我についての反省点など
 - ➔ 挨拶から始まり、挨拶で終わる理由について
 - ➔ 劇場を「お借りしている」という事を忘れないこと
 - ➔ 作業、行動についてはお互いに気を使う事を忘れずに
- ・ 劇場を使って機構の見学、触れる事で体験が可能なことを行う
 - ➔ それぞれの機構が何のために存在しているのか、名称と機能(役割)を理解する事で舞台作業中の事故のリスクマネジメントを学ぶ
 - ※緞帳、暗転幕、美術バトン、サスバトン、迫、盆、フロント、シーリング等
 - ※作業による火災事故、転倒事故、人身事故など
- ・ 演出上”やりたい事”と”できる事”の違いについての技術講習・実技講習
 - ➔ 自分たちが行いたい作業とその現場では禁止されている事の照らし合わせ、対処法 劇場側との相談の仕方など

講習内容

- ・ 様々な授業及び活動に対応出来るよう各分野に分かれての講習を行う
 - ex. 音響:スピーカー(スタンド)の組立て方法、Mic,スピーカーケーブルの引き方
 - 音響:信号の流れ方について、調整卓の基本的操作、大きな音の中での作業など
 - 照明:照明仕込み図の読み方、サスにライトを吊り込む時のコツや注意点
 - 照明:フロア周りの仕込み方(火災、転倒事故防止の注意点)、シュートの注意
 - 照明:アナログとDMXの違い、調光卓の基本的操作など
 - 大道具:平台の組み方、パネルの立て方、ドロップ幕などの吊り方
 - 大道具:釘の打ち方、パンチなど天場の敷き方、転換時の注意点(暗転、明転)
 - 舞監:舞台図の書き方、考え方、バミリの重要性、生徒の仕切り方、先生の仕切り方
 - 舞監:各セクション、劇場との進行打合せ方、Qの出し方、出させ方

楽器:基本的な楽器の組み方(ドラムセット・キーボード周り)

楽器:基本的なアンプのセッティングについて

- ・ 現役のプロスタッフとのトークセッション

→ 質疑応答形式?作業中の雑談でもいいのではないかな?

知識・技能習得の実践的な講習会ではあるが、社員教育ではないので、より深い専門的な講習会ではなく、広く浅く楽しませながら、と、まずは舞台業界の入口を示す事を第一とする。

講師

- ・ 宮城舞台技術者協会より派遣
→ 協会員に協力を仰ぐ

会場

- ・ 宮城県内:公共ホール/ライブハウス
- ・ 宮城県内:協力大学・専門学校の講堂・体育館など

申し込み方法

- ・ 学校単位(サークル)による取りまとめ/個人単位での申し込み→共にE-Mailで申し込み対応

参加費用

- ・ 経費(予算)により設定をするべきだが、対象が高校生なので上限は¥2000~¥3000

開催日

- ・ 4月(中旬)~6月(中旬)
 - 出来ればG.W前が望ましいが新入生はオリエンテーションなどで忙しい?
 - GW前後は業界も荒吐、青葉祭りなど大きなイベントが開催されるので難しい?
- ・ 7月(中旬)~8月(中旬)
 - 夏休み期間中なら平日開催も可能でないかな?
 - 8月は繁忙期なので難しい?
- ・ 3月(中~下旬)
 - 入学前の下準備として活用できる?
 - 入学準備(引っ越し等)で落ち着かない時期で難しい?

協会外の協力体制(協力依頼)

- ・ 各ホール運営団体:市町村、文化振興財団、NPO法人、指定管理者(企業)など・宮城県高等学校文化連盟:各専門部
- ・ 各専門学校、大学、大学内サークルなど

協会主催による事業の狙い

- ・ With コロナ、Afterコロナでの人材発掘、若手育成に関する情報収集・学校関係者との人脈作り等

その他

- ・ 雑談レベルでデジタルアーツ仙台の教員と話した時に是非協力したいとの事必要であれば機材も出せる感じでした。
- ・ 東北地方:大学及び短期大学、専門学校のリサーチリスト(別紙)

東北地方：大学及び短期大学,専門学校リサーチデータ[2021.2.1ver.]

	宮城県	岩手県	山形県	福島県	秋田県	青森県
国立大学	東北大学	岩手大学	山形大学	福島大学	秋田大学	弘前大学
	宮城教育大学					
公立大学	宮城大学	岩手県立大学	山形県立保健医療大学	会津大学	秋田県立大学	青森県立保健大学
			山形県立米沢栄養大学	福島県立医科大学	秋田公立美術大学	青森公立大学
					国際教養大学	
	石巻専修大学	岩手医科大学	東北芸術工科大学	医療創生大学	秋田看護福祉大学	青森大学
私立大学	尚絅学院大学	岩手保健医療大学	東北公益文科大学	奥羽大学	日本赤十字秋田看護大学	青森中央学院大学
	仙台白百合女子大学	富士大学	東北文教大学	郡山女子大学	ノースアジア大学	柴田学園大学
	仙台大学	盛岡大学		東日本国際大学		八戸学院大学
	東北医科薬科大学			福島学院大学		八戸工業大学
	東北学院大学					弘前医療福祉大学
	東北工業大学					弘前学院大学
	東北生活文化大学					
	東北福祉大学					
	東北文化学園大学					
	宮城学院女子大学					
	聖和学園短期大学	岩手県立大学宮古短期大学部	山形県立米沢女子短期大学	会津大学短期大学部	秋田栄養短期大学	青森明の星短期大学
	仙台台青葉学院短期大学	岩手県立大学森岡短期大学部	羽陽学園短期大学	いわき短期大学	聖霊女子短期大学	青森中央短期大学
短期大学	仙台赤門短期大学	修紅短期大学	東北文教大学短期大学部	郡山女子大学短期大学部	日本赤十字秋田短期大学	東北女子短期大学
	東北生活文化大学短期大学部	盛岡大学短期大学部		桜の聖母短期大学	聖園学園短期大学	八戸学院大学短期大学部
専門学校	宮城誠真短期大学			福島学院大学短期大学部		弘前医療福祉大学短期大学部
	専門学校デジタルアーツ仙台	A&D国際アート&デザイン大学校				
	仙台スクールオブミュージック&ダンス専門学校					
	東北電子専門学校					
	総合学園ヒューマンアカデミー仙台校					

タイトル(仮)

- ・ 広域インターンシップ

企画内容・目的・狙い

・従来 行われるインターンシップとは形式を少々変えて、希望者に対して宮城舞台技術者協会（以下・宮舞協）会員の複数社で行う事を目的とする。

これは将来、業界へ憧れや興味を持っているが漠然とし、具体的にどの業種が自分に合っているかをまずは広い視野を持ち多角的に物事を考え、舞台技術業界を目指す若い人にチャンスを与える。と、同時に我々業界の社会的地位の向上、職業認識の向上、離職率減少（各社のマンパワーの安定）を目指す。

開催日時

- ・宮舞協事務局、協会員との日程調整を行い適時に行う。

会場

- ・協力会員（各社）のプログラムに準じる

期間

- ・一般的なインターンシップと同様に考え、1～7日間程度で各社プログラムに準じる

申し込み方法

- ・必要書類を宮舞協：事務局へ送付

協会外協力先

- ・宮城県内の高等学校、専門学校、大学等

主な作業内容(暫定)

宮城舞台技術者協会：事務局

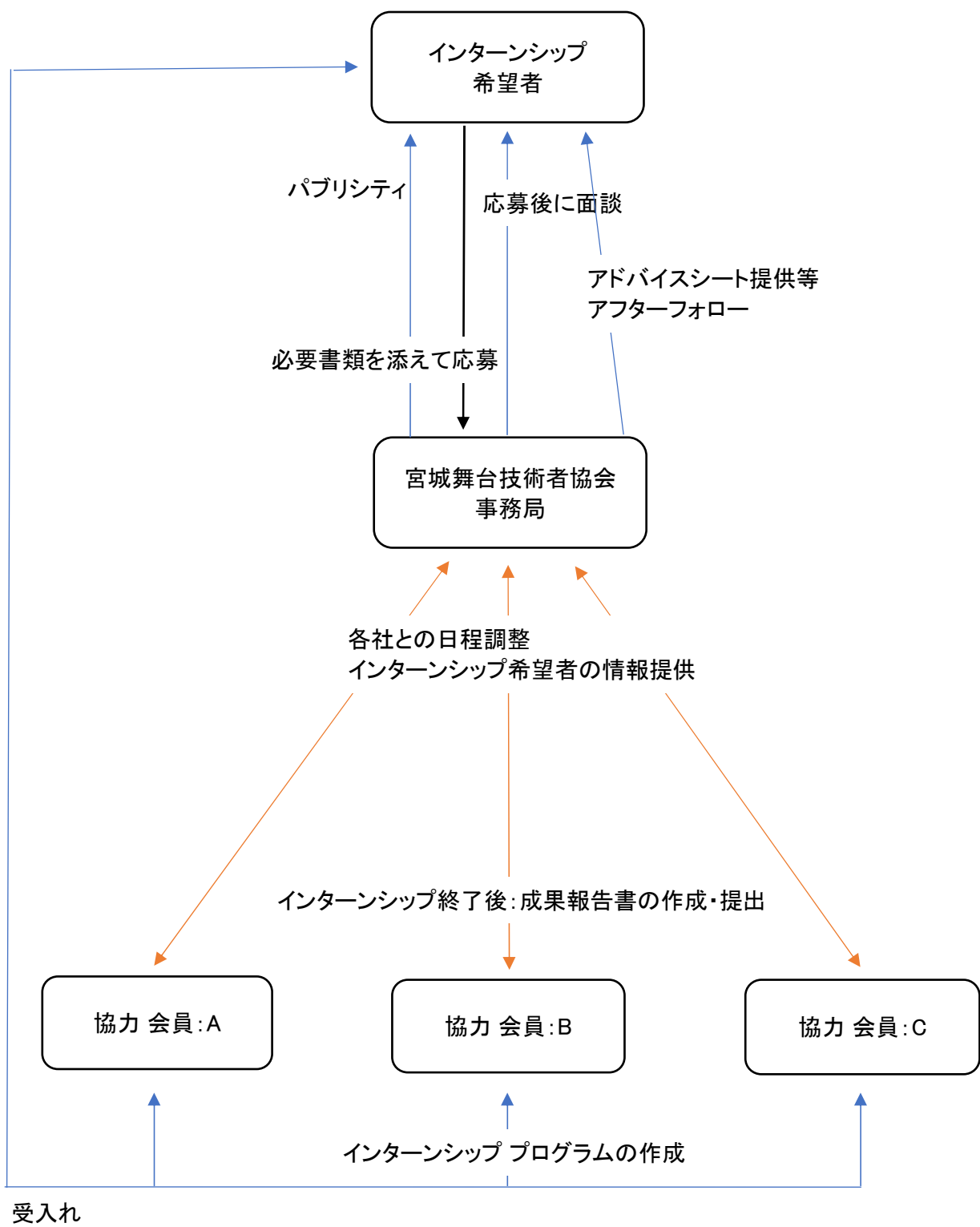
- ➔ 本企画「広域インターンシップ」開催に関するパブリシティ
- ➔ 希望者：受付、面談、アフターフォロー
- ➔ 終了後のアドバイスシートの提供
- ➔ 協力協会員、希望者との日程調整（スケジュール管理）
- ➔ 労働災害保険など安全衛生面の策定、確保、管理
- ➔ デジタルアーツ仙台では学校で学生に保険を掛けている（24h 対応）→インターンシップ等でも適応する保険だが、出来れば主催者側でも保険加入をお願いしたとのこと。

協会員（協力法人・個人事業主）

- ➔ 受け入れ調整
- ➔ インターンシップ 研修プログラムの作成
- ➔ インターンシップ終了後に成果報告書を作成し宮舞協・事務局へ提出

インターンシップ希望者

- ➔ 規定の応募書類の提出
- ➔ 未成年者の場合は保護者の承諾書を提出
- ➔ インターンシップ開始前に宮舞協・事務局と事前面談



タイトル(仮)

映像技術講習会

企画内容・目的・狙い

・近年、舞台演出はもちろん、講演会・学会等 大小問わず映像を使用する事が多くなっている。さらにこのコロナ禍でオンライン(配信)による開催の需要も上がり続けているのが現状です。本来であれば専門スタッフが作業に従事する事が最も適している事だが、予算減額等の条件低下により専門スタッフ以外の技術者が兼務する事もしばしば見受けられる。そこで、協会員の技術力向上を目指す1つとして必要最小限の基本的映像技術、知識を取得すべきではないだろうか？と考えてこの企画を提案します。

受講対象者

・宮城舞台技術者協会・協会員及び各社社員

講習内容(暫定)

- ・映像技術に関する基本的な知識と技術の習得
 - ➔ プロジェクター(良くある小さいタイプ)の設営、配線、基本操作(基本設定)
 - ➔ 映像に関する基本的な用語の解説
 - ➔ 仮設スクリーンの設営方法
 - ➔ ZOOMなど配信の現状・問題点・解決方法
 - ➔ 照明と映像の関係性と注意点
 - ➔ 音響と映像の関係性と注意点
 - ➔ 大道具と映像の関係性と注意点
- ・ワークショップ形式の実技とスクール形式の座学

講師

・協会内で映像技術を持つ法人・個人事業主の協力が望ましい
ex. 東北共立様等

会場

・未定: * 映像の投映が可能な所(ホール、大きめのホール、イベントスペース等)

開催時期・期間

・閑散期/1日講習

運営・申込み先

・宮城舞台技術者協会:事務局or運営委員会

予算

・未定

参加料

・徴収アリ

タイトル(仮)

各種資格取得・技能特別教育受講支援

企画目的・狙い

- ・各種法律を厳守する為に必要な資格の取得支援
- ・各種法律に基づく特別教育の受講支援
- ・日常業務・キャリアアップに向けた資格取得の支援

資格及び特別教育支援内容

- ・特別教育受講支援
 - ➔ フルハーネス特別教育
 - ➔ 足場の組立て等特別教育
 - ➔ 低圧電気取扱業務特別教育
- ・舞台に関する技能認定資格支援
 - ➔ 舞台機構調整技能士検定
 - ➔ 劇場技術者検定
 - ➔ 照明技術者技能検定
 - ➔ 音響技術者技能認定
 - ➔ サウンドシステムチューナー
- ・他、技能検定及び安全衛生関係検定支援
 - ➔ 第一種電気工事士/第二種電気工事士
 - ➔ 危険物取扱者
 - ➔ 安全衛生責任者教育修了者
 - ➔ 防火・防災管理者講習
 - ➔ 普通救命講習

講師

- ・協会内で指導員資格を有する者
- ・外部委託による出張講習
- ・外部団体主催による講習会への参加

会場

- ・各主催者の開催場所に応じる

開催時期・期間

- ・各主催者の開催場所に応じる

受講申込み

- ・各主催者の応募方法、申し込み方法に準じる
- ・宮舞協として団体で参加、取りまとめが可能な場合は事務局or運営委員会が窓口となる

受講料

- ・原則:個人負担

タイトル(仮)

メンタルヘルスに関する講習会・資格取得

企画目的・狙い

・舞台技術者として技術の向上を目指す事はもちろんの事だか、コンサート現場など舞台には多くの
人々、業者が集まってくる。その中には新人からベテラン、経営者まで様々でスキルも違う。
時間に追われることが多い現場で多少言葉や態度が荒れていても黙認されがちな当業界だが、
『昔』にこだわっている事は得策ではないのだ。最近、TVや映画業界で取り入れ始めている『リスペク
ト・トレーニング』を舞台技術者業界でも取り入れるべきと考えこの企画を提案する。

講習内容

・リスペクト・トレーニング

➔ ハラスメント防止研修

➔ 社員啓発教育・サポート

* ハラスメント研修(一般向け)、ハラスメント研修(管理職向け)、アンガーマネジメント、アサーション研修

➔ ハラスメント相談窓口

➔ 事後課題解決サポート(再発防止のための取り組み)

・メンタルヘルスマネジメント検定

➔ Ⅲ種(セルフケアコース) 一般社員が対象

Ⅱ種(ラインケアコース) 部長職や次長職といった職場の管理監督者を対象

Ⅰ種(マスターコース) 人事労務管理スタッフや取締役・執行役などの経営幹部が対象

講師

・外部委託による出張講習

・外部団体主催による講習会への参加

会場

・各主催者の開催場所に応じる

開催時期・期間

・各主催者の開催場所に応じる

受講申込み

・各主催者の応募方法、申し込み方法に準じる

・宮舞協として団体で参加、取りまとめが可能な場合は事務局or運営委員会が窓口となる

受講料

・原則:個人負担

タイトル(仮)

座談会 #Talk to Me

企画目的・狙い

・良くある一般・学生⇄スタッフ間の堅苦しい講演やセミナー形式ではなく、ざっくばらんな座談会

いわゆる『楽屋トーク』的な感じで役に立つ情報、役に立たない情報、その個人が持つスキル(PCや趣味)の話など、なんでも良しとし、必ずしも業界の話をする必要もなく、利害関係も取り払う。

とはいえ、根底には業界の職業認識の向上を目指す事もあるので、参加者が学生であればリクルート先(業界関係なしに)にどこか役に立てばいいな程度の宣伝は不可欠。

業界関係者同士での開催も視野に入れる。

会場

・未定

→ 各学校関係であれば空き教室・カフェスペースの提供をお願いする。

→ イベントスペース・カフェ・喫茶店等飲食店

開催時期・期間

・未定

→ 開催場所のスケジュールに応じることも一考

運営

・宮城舞台技術者協会:事務局or運営委員会

参加資格

・不問

→ 宮城舞台技術者協会 協会員以外でも参加可

参加費

・基本的に無料

注意事項

・飲酒厳禁

・開催会場での喫煙禁止(定められた場所で)

タイトル(仮)

あなたのお仕事教えてください。～What kind of work are you doing?～

企画目的・狙い

・普段、何気なく目にしている他セクションの作業。
連携プレーが必要な私たちの現場ではある程度、どんな作業をしているのかは解っている事でしょう。
しかし、1つの作業の中には一体どれだけの意味や重要度、技術力が隠れているのでしょうか？

お互いにお互いのプロフェッショナルの技術を垣間見て理解を深めれば、より良い舞台技術の向上、
作品作りに生かせるのではないだろうか？と考えこの企画を提案する。

対象者

- ・宮城舞台技術者協会 会員及び所属する社員・従業員
- ・宮城県内劇場運営関係者(正職員・プロパー含む)

会場

- ・宮城県内劇場:ホール

内容

- ・同業界内異業種の勉強会
 - ➔ 音響のいろはを学ぼう
 - ➔ 照明のいろはを学ぼう
 - ➔ 大道具のいろはを学ぼう
- ※ 各2時間程度で簡単な座学～実習(休憩アリ)

開催時期・期間

- ・閑散期
 - ➔ 1日講習

講師

- ・宮城舞台技術者協会・協会員

運営

- ・宮城舞台技術者協会:事務局or運営委員会

参加資格

- ・宮城舞台技術者協会 会員及び所属社員
- ・宮城県内劇場運営者(正職員・プロパー等は不問)

参加費

- ・未定(劇場使用料・付帯設備使用料金等、予算により決定)

注意事項

- ・作業できる服装

タイトル(仮)

宮城県内:劇場見学ツアー

企画目的・狙い

- ・普段からお世話になっている宮城県内の劇場を巡るバスツアー
(裏設定アリマス)

対象者

- ・宮城舞台技術者協会 会員及び所属する社員・従業員

会場

- ・宮城県内劇場:ホール
 - ➔ 可能であれば利用申請等の手続きなく(料金未発生)、見学出来るのが望ましい。
 - ➔ 空き日の確認が必要(急遽予約等申請が入った場合はどうする?)

内容

- ・各劇場の機構等特徴の再確認、便利な使い方など劇場スタッフとのトークセッション
 - ➔ 技術系、運営ルール等のお話を伺う
 - ➔ 劇場の特徴や劇場スタッフ目線での注意点などのお話を伺う

開催時期・期間

- ・閑散期

- ➔ a)1日行程

1日で完結するのであれば基本的に仙台圏の劇場がメインになってしまうのではないかと？
しかし、仙台圏の劇場には会員それぞれが何度も足を運んでいるので大きな参考にはならないのではないかと？
移動の問題もあるがあまり伺う事の少ない劇場へお邪魔するのもアリかなと考える。

- ➔ b)2日行程

！コロナ禍であることは重々承知しています！

行程を2日にすることにより、訪問する劇場の幅が大きくなるメリットがある。
そして、1日目の夜は参加人数に適した宿にて協会の懇親会を開催したいと思います。
2日目も劇場見学17:00頃までには解散したいと考えています。

運営

- ・宮城舞台技術者協会:事務局or運営委員会

参加資格

- ・宮城舞台技術者協会 会員及び所属社員

参加費

- ・未定(企画規模、車両費(バス)等予算により決定)

注意事項

- ・2日行程あくまでも希望的観測